



2025年度

福山漁港(水呑地区)・7-1

福山市箕島町地内

漁港改修工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計	
	工事延長 L=30.7m 基礎捨石工 V=3m ³ 被覆石工 V=2m ³ コンクリート工 L=29.6m(V=95m ³) 階段工 L=10.0m(V=9m ³) 付属工 N=3個 仮設工 一式	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、漁港改修工事（福山漁港(水呑地区)・7-1)に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和6年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」「漁港漁場関係工事積算基準」「国土交通省港湾局港湾請負工事積算基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 現場代理人の常駐義務

- ・本工事において、現場代理人は常駐しなければならない。なお、やむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、監督員と受注者が協議するものとする。

第5節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第6節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第7節 施工環境監理者の配置について

この工事は、施工環境監理者を配置する工事とする。

- ・施工環境監理の目的について
本工事は、周辺海域の自然環境や水生生物の生息環境に配慮した施工を監理する者（以下、「施工環境監理者」という。）を関与させることで、環境保全に配慮した円滑な施工を確保することを目的とする。
- ・施工環境監理者の資格について
施工環境監理者は、技術士若しくは技術士補のうち水産部門（水産土木）の資格を有する者又は、社団法人大日本水産会の行う水産工学技士（水産土木部門）認定試験に合格し、水産工学技士として登録した者とする。なお、施工環境監理者に上記技術者を配置できない場合は、これと同等以上の能力と経験を有する者で、監督員の承諾を得た者を配置するものとする。
- ・施工環境監理者の配置について
一件の工事の請負代金額が3,000万円以上の場合、施工環境監理者は専任とするが、密接な関係にある二件以上の工事を同一又は近接した場所で施工する場合は、兼任できるものとする。ただし、これによりがたい場合は、監督員と協議するものとする。施工環境監理者は、監理技術者、主任技術者、現場代理人と兼務できるものとする。受注者は、受注後、すみやかに施工環境監理者指名（変更）届を提出するものとする。
- ・施工環境監理者の関与について
施工環境監理者は、施工計画立案時の環境対策計画立案に関与し、必要な場合は、臨機に環境対策に対応しなければならない。受注者が施工環境監理者を有していない場合、受注者が施工環境監理者の資格を有する者に業務を依頼し、環境対策計画立案に関与させることで、本工事に対する関与とみなす。受注者が施工環境監理者の資格を有する者に業務を依頼する場合は、施工環境監理者の氏名及び有する資格の写しを添えて、監督員に提出するものとする。
受注者は、施工環境監理者の氏名及び登録番号等を施工計画書に記載し、これに変更が生じた場合は、遅滞なく書面により監督員にその旨を届けるものとする。また、受注者は施工環境監理者に従事する者に対し、工事現場内においては、その者が適正な技術者であることを証する名札を常に携帯させるものとする。なお、名札は氏名、工事名、工期、資格名、所属会社名及び社印の入ったものとする。また、監理（主任）技術者が施工環境監理者を兼任する場合には腕章との併用を行うものとする。
施工環境監理者は、現場での常駐は求めない。ただし、環境配慮工種施工時の現場での指導や、中間・竣工検査時における環境配慮事項に関する説明等は施工環境監理者が行うこと。

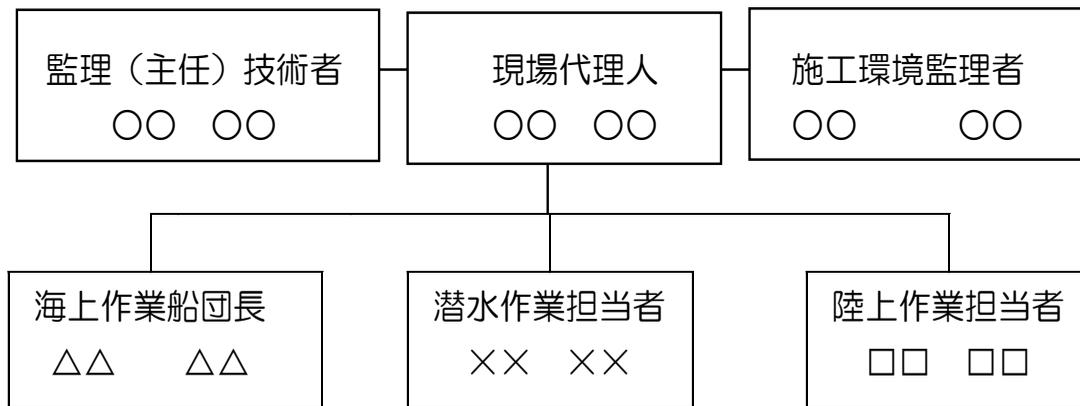
・施工環境監理者の業務について
施工環境監理者は、次の業務を行う。

周辺海域の自然環境、生息環境にかかる環境対策の検討を行い、施工計画書に必要な環境対策について記載すること。必要に応じて藻場の拡大や生物生息環境の改善に繋がる可能性を有する技術的提案を行うこと。据付等海上作業の環境対策にかかる指導を行うこと。周辺海域への環境影響が予知され、又は発生した場合は、施工環境監理者は監理（主任）技術者への助言を行うこと。また、直ちに現場代理人を通じて監督員に報告するとともに、監督員の指示があればそれに従うこと。関係機関（漁業協同組合及び漁業者等）と工事に関する連絡調整を図ること。

上記の業務については、やむを得ない特段の事情が無い限り、設計変更の対象とはならない。特段の事情により設計変更を行う必要性が生じた場合、事前に発注者と協議を行うこと。

・実施体制の表示について

受注者は、施工環境監理者の氏名を施工計画書の現場組織表に記載すると共に、変更が生じた場合は書面により監督員にその旨届けることになるが、現場代理人、主任技術者等との関係を示す例は次のとおり。



・名札の携行について

受注者は、施工環境監理者に、工事現場内においては、氏名、工事名、工期、資格名、所属会社名及び社印の入った名札を携行させるものとする。監理（主任）技術者が施工環境監理者を兼任する場合には腕章との併用を行う。名札の例は次のとおり。

施 工 環 境 監 理 者	
1. 氏	名：環境太郎
2. 工 事	名：〇〇漁港整備工事（1工区）
3. 工	期：令和〇年〇月〇〇日～令和〇年〇月〇〇日
4. 資 格	名：水産工学技士（第〇〇〇〇〇〇号）
5. 所属会社名	：〇〇建設株式会社 印

第2章 材料

第1節 コンクリートの配合指定

・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第2節 大型土のう

・次のいずれかの要件に該当する場合は、袋体が破損する恐れがあるので耐候性大型土のう積層工法」設計・施工マニュアルで要求される性能（19項目）を全て満たした製品を使用すること。
(1) 要領1m³当たりの中詰材重量が10kNを超える場合（20kN未満）
(2) 2か月を超えて屋外へ使用する場合（3年未満）

第3章 施工条件

第1節 検査期間

・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第2節 関係機関協議

・協議先機関名：福山海上保安署
・協議内容：漁港内及び海域での工事施工について（港内作業許可申請）

第3節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立ち入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。

第4節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
 - 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
 - 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
 - 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
 - 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
 - 6 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - (2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
 - 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
 - 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第5節 任意仮設

- ・本工事に伴う以下の内容の仮設工は、積算用参考図に見込んでいる。なお、積算用参考図は任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。
- ・内容：工事仮設道路、足場工

第6節 購入土（搬入）（建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土）

- ・本工事では、土砂購入を見込んでいる。
- ・当該工事に使用する購入土は、建設発生土処分先一覧表に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。）を使用するものとする。積算にあたっては、運搬費と処理土購入費（工場渡し）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用（単価）は変更しない。
- ・上記により使用することとしている処理土について、何らかの事情によりその使用が困難である場合は、設計図書の内容について監督員と協議すること。
- ・使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。

第7節 建設副産物について

(1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。

1 建設廃棄物処理計画書

- ・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）
- ・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）
- ・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
- ・各処分場の現地確認写真
- ・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し

2 再生資源利用計画書

3 再生資源利用促進計画書

(2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。

1 再生資源利用実施書

2 再生資源利用促進実施書

3 建設廃棄物処理実施書

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）
- ・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第8節 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

- ・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・実施伝票は原本を提出すること。

第9節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。
- ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
- ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
- ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写しを監督員に提出すること。（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第4章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第2節 福山市週休2日適用工事について

本工事は、持続可能な建設産業に向けた労働環境の改善を目的とする週休2日適用工事の対象工事です。詳細については、別紙（土木関連工事における福山市週休2日適用工事の実施について）によるものとします。

土木関連工事における福山市週休2日適用工事の実施について

- 1 福山市週休2日適用工事の実施に係る用語の定義は次の各号に定めるものとする。
 - (1) 「週休2日」とは、次のアからウまでに定める区分に応じ、各条件を満たすものをいう。
 - ア 「完全週休2日(土日)」とは、対象期間の全ての週(原則として、土曜日から金曜日までの7日間とする。以下同じ。)毎に現場閉所又は現場休息(以下「現場閉所等」という。)を原則として土曜日及び日曜日に指定し、1週間に2日以上現場閉所等を行うものをいう。
 - イ 「月単位の週休2日」とは、対象期間内の全ての月毎に現場閉所等の日数が、4週8休(現場閉所等の割合が28.5%(8日/28日)以上)のものを用いる。以下同じ。)以上であるものをいう。
 - ウ 「通期の週休2日」とは、対象期間内において現場閉所等の日数が4週8休以上のものを用いる。
 - (2) 「現場閉所」とは、巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。
 - (3) 「現場休息」とは、分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。
 - (4) 「対象期間」とは、工事着手日(準備期間(契約上の工事の始期から現場事務所などの設置、測量、本体工事又は仮設工事のいずれか最も早い日までの期間をいう。)を除く。)から工事の完成日(後片付け期間(契約図書に基づく工事目的物の施工が全て完了し、余剰資材等の撤去、現場の清掃等、工事の完成検査を受けるために必要な作業を行う期間をいう。)を除く。)までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。
 - ア 年末年始6日間及び夏季休暇3日間
 - イ 工場製作のみが行われている期間
 - ウ 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間
 - (5) 「発注者指定型」とは、週休2日適用工事として発注者が指定するものをいう。
 - (6) 「受注者希望型」とは、受注者が工事着手前に、発注者に対して週休2日適用工事として取り組む旨を申し出たものをいう。
- 2 週休2日は、次のアからウまでに定める区分に応じ、各号に定めるところにより実施するものとする。
 - ア 完全週休2日(土日)
 - 1 (1)アに定めるところにより実施するものとする。ただし、対象期間内のうち、日数が7日に満たない週においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことで実施できるものとする。
 - イ 月単位の週休2日
 - 1 (1)イに定めるところにより実施するものとする。ただし、暦上の土曜日及び日曜日の現場閉所等では4週8休に満たない月又は日数が28日に満たない月においては、当該

月の対象期間内の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことにより実施できるものとする。

ウ 通期の週休2日

1 (1)ウに定めるところにより実施するものとする。

- 3 受注者は、受注した工事が発注者指定型の場合は、工事着手までに監督員に対し、実施する週休2日の区分について申し出るとともに、現場閉所（現場休息）計画表兼実績表（様式1）（以下「計画表」という。）を提出するものとする。
- 4 受注者は、受注した工事が受注者希望型の場合は、工事着手までに監督員に対し、週休2日実施の有無及び実施する週休2日の区分について申し出るとともに、実施する場合は計画表を提出するものとする。なお、工事着手前に週休2日を実施しない旨を申し出た場合は、工事着手後の週休2日を実施する旨の申出は受け付けないものとする。
- 5 受注者は、天候を理由として現場閉所等を行う場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。
 - (1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
 - (2) その他工程の都合上やむを得ない場合
- 6 受注者は、当該工事が週休2日適用工事である旨を標示板の見えやすい位置に記載して工事現場に設置しなければならない。この場合において、記載内容は、別記様式に定めるものを基本とするものとする。
- 7 受注者は、計画表に現場閉所等の状況を記入し、現場閉所等の状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等をいう。）とともに毎月7日（7日が閉庁日の場合は翌開庁日）まで及び工事完成後速やかに、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。
- 8 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。
- 9 受注者は、週休2日を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。
- 10 発注者指定型の工事の経費の補正は次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 土木工事

月単位の週休2日の経費を見込んで発注し、現場閉所等の実績に基づき、完全週休2日（土日）を達成したと認めた場合は、完全週休2日（土日）の補正係数を適用して変更契約し、月単位の週休2日を達成できなかった場合は、月単位の週休2日の補正係数を除いて変更契約を行うものとする。

(2) 港湾工事

月単位の週休2日の経費を見込んで発注し、現場閉所等の実績に基づき、月単位の週休2日を達成できなかった場合は、月単位の週休2日の補正係数を除いて変更契約を行うものとする。

- 11 受注者希望型の工事の経費の補正は次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 土木工事

週休2日の経費は見込まず発注し、現場閉所等の実績に基づき、達成した週休2日の区分に応じて完全週休2日（土日）（港湾工事を除く。）又は月単位の週休2日の補正係数を適用して変更契約を行うものとする。

(2) 港湾工事

週休2日の経費は見込まず発注し、現場閉所等の実績に基づき、月単位の週休2日を達成したと認めるとき、当該週休2日の補正係数を適用して変更契約を行うものとする。

12 土木工事（港湾工事を含む。）に係る経費の補正については、次の各号に掲げる現場閉所等の実績に基づき、当該各号に定める補正係数、別表土木工事市場単価の補正係数（港湾工事を除く。）及び土木工事標準単価の補正係数の表に定める補正係数を用いるものとする。ただし、港湾工事（港湾土木請負工事積算基準を適用した工事）については、月単位の週休2日を達成した場合に限り、第2号に定める補正係数及び別表港湾工事市場単価の補正係数の表に定める補正係数により、経費の補正を行うものとする。

(1) 完全週休2日（土日）

ア 労務費	1.02
イ 共通仮設費	1.02
ウ 現場管理費	1.03

(2) 月単位の週休2日

ア 労務費	1.02
イ 共通仮設費	1.01（港湾工事を除く。）
ウ 共通仮設費	1.02（港湾工事に限る。）
エ 現場管理費	1.02（港湾工事を除く。）
オ 現場管理費	1.03（港湾工事に限る。）

13 12(1)ア及び12(2)アに規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工及び港湾請負工事積算基準に係る標準賃金（船舶製作工を除く。）とする。

14 土木工事については、完全週休2日（土日）又は月単位の週休2日を達成したとき、港湾工事については、月単位の週休2日を達成したときに工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

15 週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。

16 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

別表

土木工事市場単価の補正係数（港湾工事を除く。）

名称	区分	補正係数	
		月単位 の週休2日	完全 週休2日 (土日)
鉄筋工		1.02	1.02
ガス圧接工		1.01	1.01
インターロッキングブロック工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02	1.02
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01	1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.01
道路標識設置工	設置	1.00	1.00
	撤去・移設	1.01	1.01
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
法面工		1.01	1.01
吹付砕工		1.01	1.01
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.01	1.01
道路植栽工		1.02	1.02
公園植栽工		1.02	1.02
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.02
橋面防水工		1.01	1.01
薄層カラー舗装工		1.00	1.00
グルーピング工		1.00	1.00
軟弱地盤処理工		1.01	1.01
コンクリート表面処理工 （ウォータージェット工）		1.01	1.01
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01
砂基礎工	人力施工	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02
碎石基礎工	人力施工	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02
組立マンホール設置工		1.01	1.01
小型マンホール工		1.00	1.00
取付管及びます設置工	ます設置工	1.00	1.00
	取付管布設及び支管取付工	1.01	1.01

港湾工事市場単価の補正係数

名称	補正係数
	月単位 の週休2日
底面工	1.01
マット工（アスファルトマット設置・ゴム系マット設置）	1.00
支保工	1.02
足場工	1.01
鉄筋工	1.02
吊鉄筋工	1.02
型枠工	1.02
コンクリート打設工（ポンプ車打設）	1.02
コンクリート打設工（ポンプ車打設以外）	1.02
止水板工	1.02
上蓋工	1.02
伸縮目地工	1.01
係船柱取付	1.02
防舷材取付	1.02
車止・縁金物取付	1.02
係船柱撤去	1.02
防舷材撤去	1.02
車止撤去	1.02
電気防食取付	1.02
防砂目地板取付工（陸上施工）	1.02
防砂目地板取付工（水中施工）	1.02
吸出し防止工（陸上施工・海上施工）	1.02
港湾構造物塗装工（係船柱・車止・縁金物）	1.01
ペトラタム被覆	1.02
現場鋼材溶接・切断工（陸上施工・海上施工）	1.02
現場鋼材溶接・切断工（水中施工）	1.02
かき落とし工	1.02
汚濁防止膜設置・撤去・移設	1.01
汚濁防止枠設置・撤去	1.01
灯浮標設置・撤去	1.01
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船あり・水中目視点検）	1.00
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船なし）	1.02
異形ブロック製作型枠工	1.02
異形ブロック製作コンクリート打設工	1.02
異形ブロック製作給熱養生	1.01

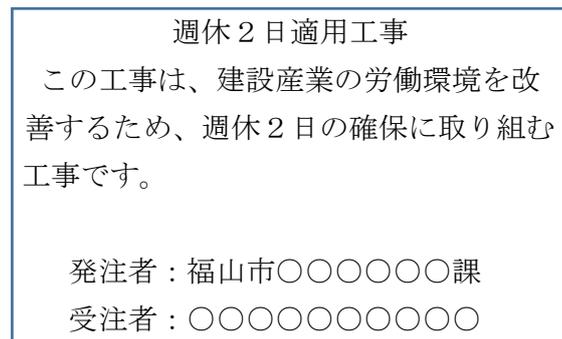
土木工事標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		月単位の週休2日	完全週休2日(土日)
区画線工		1.02	1.02
高視認性区画線工		1.02	1.02
橋梁塗装工		1.01	1.01
構造物とりこわし工	機械	1.01	1.01
	人力	1.02	1.02
コンクリートブロック積工		1.02	1.02
排水構造物工		1.02	1.02

(1)



(2)



(A 3 サイズ以上)

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 70 福山市 00-07.07.01(0) M 公共(港湾)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 19 港湾構造物工事 ICT補正区分 00 補正なし 施工地域・工事場所区分 14 地方港湾(3)・影響なし 港湾輸送補正区分 00 海上輸送補正なし 復興係数区分 00 補正なし 週休補正区分 00 補正なし 冬期補正係数 00 補正なし 緊急工事区分 00 通常工事 0% 前払金支出割合区分 00 補正無し 契約保証区分 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
防波堤・防砂堤・導流堤					Y1M02 レベル1
撤去工	1	式			Y1M0215 レベル2
取壊し工	1	式			Y1M021501 レベル3
コンクリート取壊し 【構造物区分】	1	式			Y1M02150101 レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工		m3			SDT00031 00
殻運搬	7	m3			単第0 -0001 表
Co(無筋)構造物とりこわし D1D区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)	7	m3			SPK24040151 00 単第0 -0002 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート塊受入費 再生工場搬入 無筋	16	t			T9005 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
撤去工					Y1M021502 レベル3
	1	式			
石材撤去 【形状区分】					Y1M02150201 レベル4
		m3			
被覆石撤去 岩塊・玉石 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	4	m3			SPK24040001 00 単第0 -0003 表
係船柱撤去 【形状区分】					Y1M02150201 レベル4
		個			
係船柱撤去 100kN未満	2	個			V0003 00 単第0 -0004 表
土工					Y1M0202 レベル2
	1	式			
作業土工					Y1M020201 レベル3
	1	式			
作業土工 【砂規格】					Y1M02020101 レベル4
		m3			
床掘り 土砂 平均施工幅1m以上2m未満 土留方式無し 障害無し	10	m3			SPK24040015 00 単第0 -0006 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	3	m3			SPK24040020 00 単第0 -0007 表
基礎捨石工	1	式			Y1M020203 レベル3
捨石本均し		m2			Y1M02020302 レベル4
捨石本均し 本均し (±5cm) 陸上施工潮待ち部	21	m2			S5066 00 単第0 -0008 表
基礎捨石 【石材規格】		m3			Y1M02020301 レベル4
捨石投入 捨石：10kg～100kg	3	m3			S5062 00 単第0 -0010 表
被覆石工	1	式			Y1M021101 レベル3
被覆石 【石材規格】		m3			Y1M02110101 レベル4
被覆捨石 200kg以上～400kg未満 水深：10m未満 施工規模：1000m3未満	2	m3			S5260 00 単第0 -0012 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
被覆石均し		m2			Y1M02110102レベル4
被覆均し(陸上) 精度: ±50cm 割石:200kg/個未満	6	m2			S5264 00 単第0 -0013 表
本体工					Y1M0205 レベル2
場所打コンクリート工	1	式			Y1M020501 レベル3
コンクリート 【コンクリート規格】		m3			Y1M02050105レベル4
チップング(厚2cm以下)	111	m2			SPK24040370 00 単第0 -0014 表
コンクリート打設(陸上) 18-8-40BB ポンプ車	53	m3			S5060003 00 単第0 -0015 表
型枠		m2			Y1M02050103レベル4
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	66	m2			SPK24040155 00 単第0 -0016 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
妻型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	11	m2			SPK24040155 00 単第0 -0017 表
伸縮目地 【目地規格】		m2			Y1M02050104 レベル4
伸縮目地 瀝青質系 (t = 10mm)	5	m ²			S5316 00 単第0 -0018 表
鉄筋 【鉄筋規格】		kg			Y1M02050102 レベル4
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30mm以上200mm未満	91	孔			SPK24040118 00 単第0 -0019 表
樹脂カプセル(モルタルカプセル) D13用(D-12) 外径12.5mm*長100mm	91	個			F0000000004 00
鉄筋工 SD345_D13 一般構造物 [規]10t未満	0.08	t			SS000099 00 単第0 -0020 表
上部工	1	式			Y1M0212 レベル2
上部コンクリート工	1	式			Y1M021201 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 【コンクリート規格】		m3			Y1M02120106レベル4
チッピング(厚2cm以下)	53	m2			SPK24040370 00 単第0 -0014 表
コンクリート打設(陸上) 18-8-40BB ポンプ車	42	m3			S5060003 00 単第0 -0021 表
型枠		m2			Y1M02050103レベル4
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	47	m2			SPK24040155 00 単第0 -0016 表
妻型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	9	m2			SPK24040155 00 単第0 -0017 表
伸縮目地 【目地規格】		m2			Y1M02050104レベル4
伸縮目地 瀝青質系 (t = 10mm)	5	m ²			S5316 00 単第0 -0018 表
鉄筋 【鉄筋規格】		kg			Y1M02050102レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30mm以上200mm未満	67	孔			SPK24040118 00 単第0 -0019 表
樹脂カプセル(モルタルカプセル) D13用(D-12) 外径12.5mm*長100mm	67	個			F0000000004 00
鉄筋工 SD345_D13 一般構造物 [規]10t未満	0.04	t			SS000099 00 単第0 -0020 表
異形鉄筋金網<JISG3551> SD295A,D6,網目150×150mm 単位質量3.49kg/m2	20	m2			TT051 00
階段工	1	式			Y1M0214 レベル2
コンクリート工	1	式			Y1M021403 レベル3
コンクリート 【コンクリート規格】		m3			Y1M02120106 レベル4
チップング(厚2cm以下)	14	m2			SPK24040370 00 単第0 -0014 表
コンクリート打設(陸上) 18-8-40BB ミキサー車	9	m3			S5060003 00 単第0 -0022 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
型枠					Y1M02050103レベル4
		m2			
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	11	m2			SPK24040155 00 単第0 -0016 表
鉄筋 【鉄筋規格】					Y1M02050102レベル4
		kg			
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30mm以上200mm未満	7	孔			SPK24040118 00 単第0 -0019 表
樹脂カプセル(モルタルカプセル) D13用(D-12) 外径12.5mm*長100mm	7	個			F0000000004 00
鉄筋工 SD345_D13 一般構造物 [規]10t未満	0.02	t			SS000099 00 単第0 -0020 表
付属工	1	式			Y1M0413 レベル2
付属設備工	1	式			Y1M041305 レベル3
係船環					Y1M04130501レベル4
		個			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
係船環設置工 25後付け	2	箇所			V0001 00 単第0 -0023 表
係船環設置工 25V型	1	箇所			V0002 00 単第0 -0025 表
仮設工	1	式			Y1M0421 レベル2
任意仮設	1	式			Y1M042103 レベル3
任意仮設	1	式			Y1M04210301 レベル4
仮設工 工事用仮設道路 足場工	1	式			V0005 00 単第0 -0026 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
任意処分費	1	式			V0009 00 単第0 -0043 表
** 直接工事費 **					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬費					Z0004
運搬費					YZZ04 レベル2
運搬費 (港湾)	1	式			YZZ04002 レベル3
仮設材等運搬	1	式			YZZ04002002 レベル4
仮設材等 (鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等) 運搬 運搬距離 7.1km 製品長 12m以内		t			YZZ04002002 レベル4
仮設材等 (鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等) 運搬 運搬距離 7.1km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0044 表
安全費					Z0009
安全費					YZZ09 レベル2
安全費 (港湾)	1	式			YZZ09002 レベル3
安全対策	1	式			YZZ09002002 レベル4
		式			

本工事費 内訳表

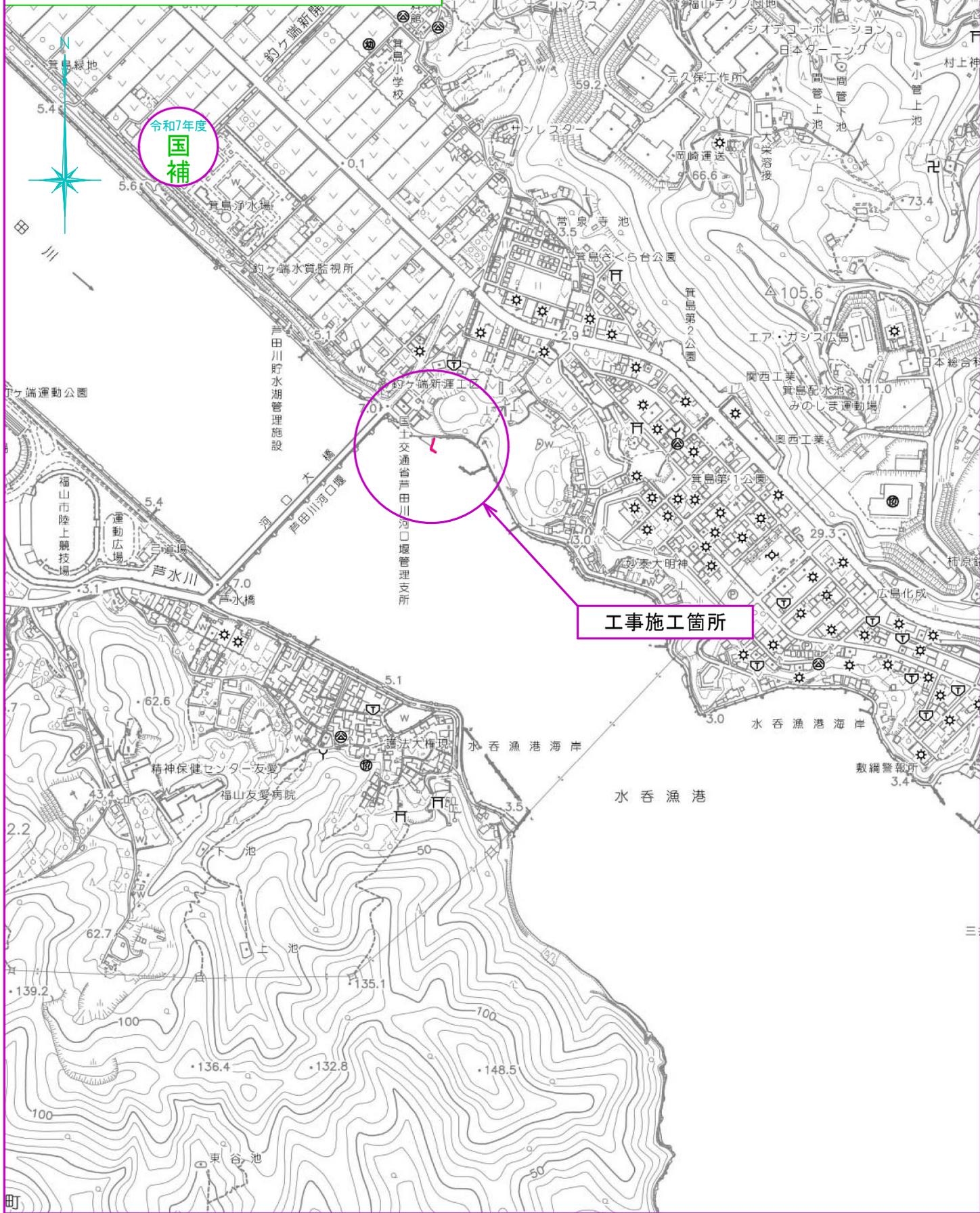
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員B					R0369 00
	60	人			
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費					
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分					前払補正率...
計算情報..... 対象額..... 率.....					
契約保証費					当初請対額 当初対象額
計算情報..... 対象額..... 率.....					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額 計算情報..... 対象額..... 率.....					
工事費計					
契約保証費計					

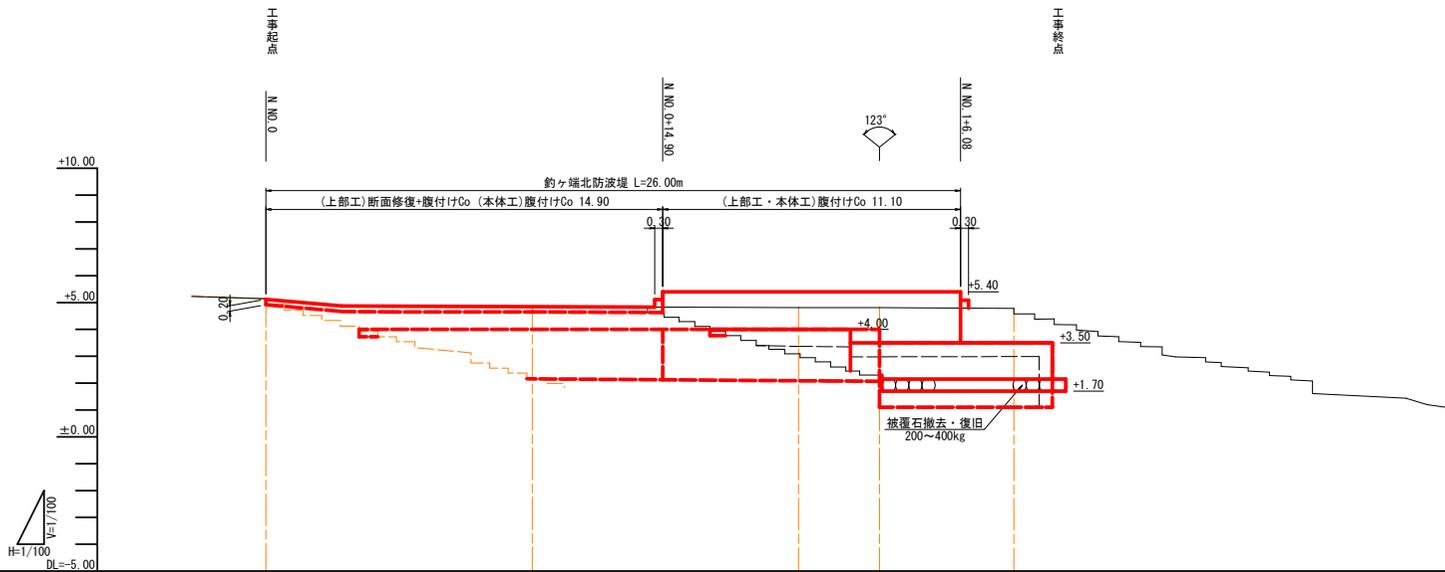
図面番号	1 / 10	縮尺	S=1:10,000
工種	漁港改修工事		
種別	位置図	番号	
漁港名	福山漁港（水呑地区）・7-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		

福山市



縦断面図

釣ヶ端北防波堤 S=1:100



M.X.H.W.L	+4.96
H.H.W.L	+4.20
H.W.L	+3.87
H.W.O.S.T	+3.66
M.H.W.L	+3.24
M.S.L	+2.10
T.M.S.L	+1.96
M.L.W.L	+1.01
L.W.O.S.T	+0.58
L.W.L	+0.18
C.D.L	±0.00

計画天端高		5.12	4.85	5.40	5.40	-
地盤高		5.12	4.85	4.81	4.81	4.76
追加距離		0.000	10.000	20.000	23.038	28.080
単距離		0.000	10.000	10.000	3.038	5.042
測点		N NO.0	N NO.0 +10	N NO.1	N IP.1	N NO.1 +8.08

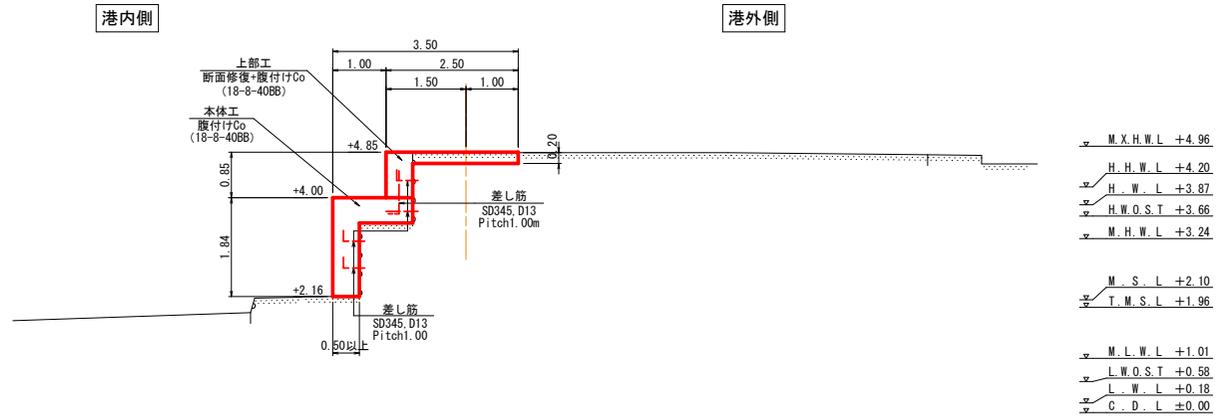
※延長は、測量法線での距離である。
※破線計画は、港内側を示す。



(釣ヶ端北防波堤)		A1→A3に50%縮小印刷	
図面番号	3/10	縮尺	1:100
工事名	漁港改修工事 (福山漁港(水呑地区)・7-1)		
図面名称	縦断面図		
福山市 港湾河川課			

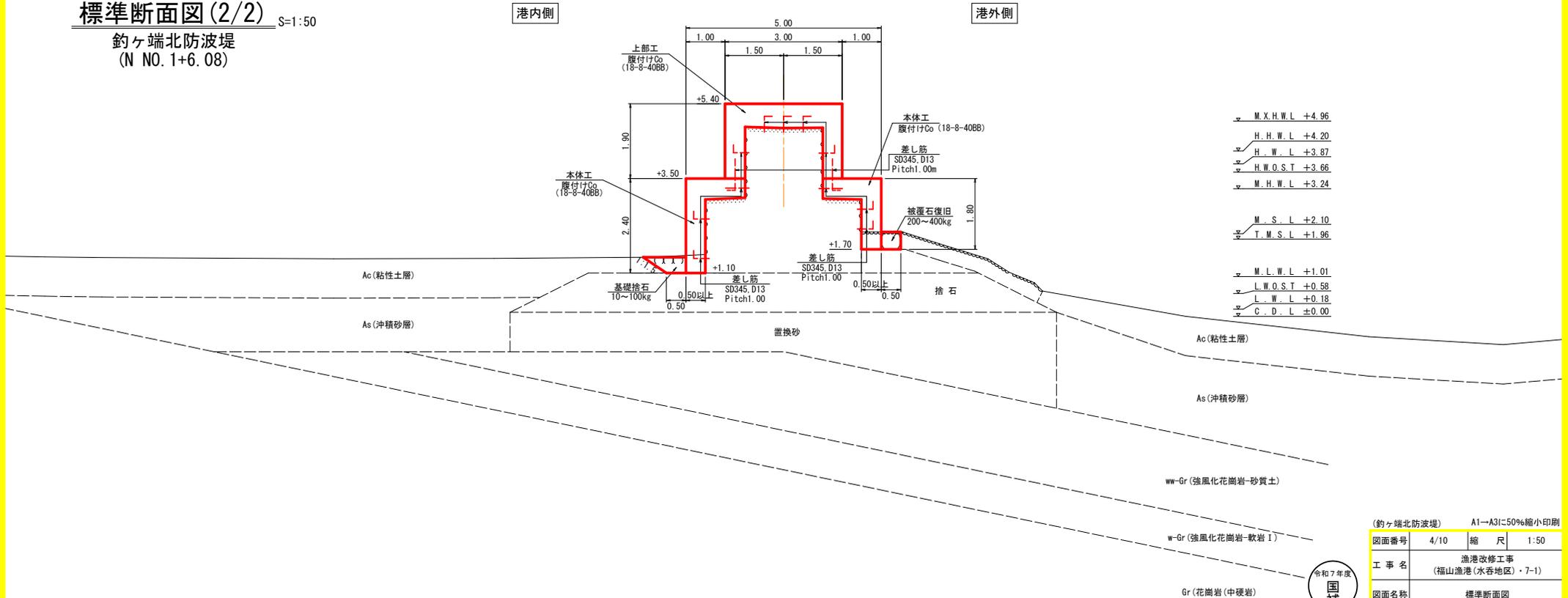
標準断面図(1/2) S=1:50

釣ヶ端北防波堤
(N NO. 0+10)



標準断面図(2/2) S=1:50

釣ヶ端北防波堤
(N NO. 1+6.08)

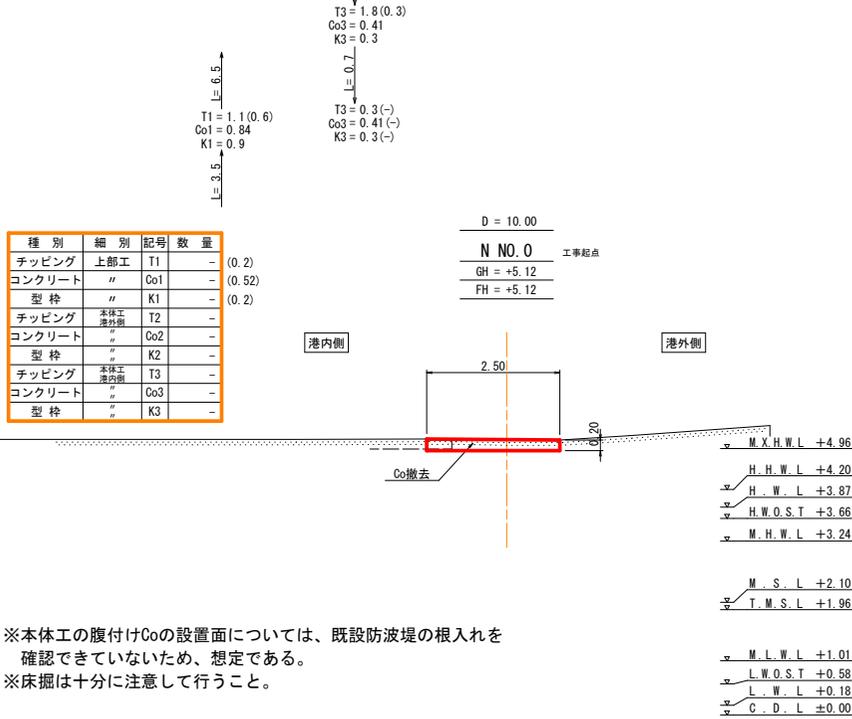
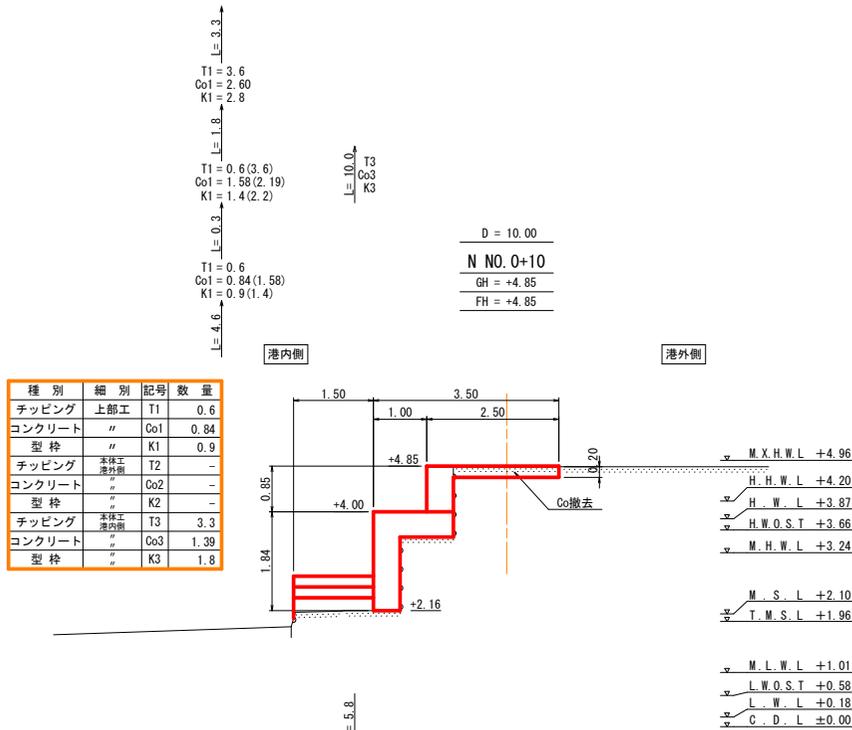


(釣ヶ端北防波堤) A1→A3に50%縮小印刷	
図面番号	4/10 縮尺 1:50
工事名	漁港改修工事 (福山漁港(水呑地区)・7-1)
図面名称	標準断面図
福山市 港湾河川課	

横断面図

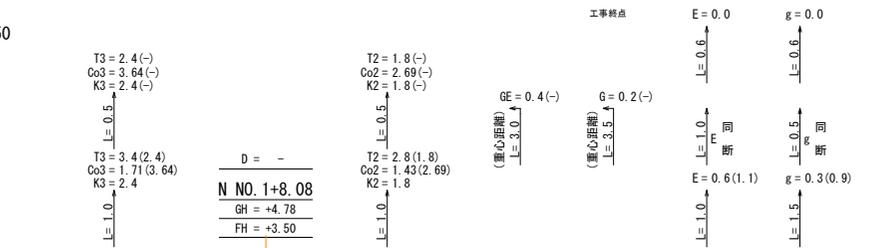
釣ヶ端北防波堤

S=1:50

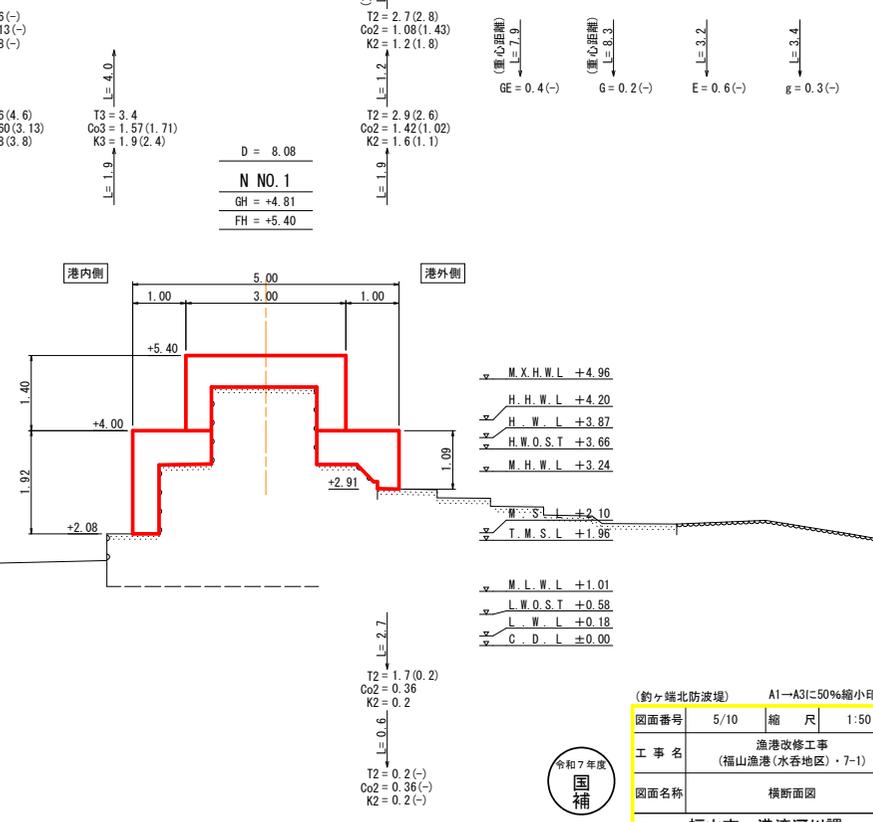


※本体工の腹付けCoの設置面については、既設防波堤の根入れを確認できていないため、想定である。
 ※床掘は十分に注意して行うこと。

種別	細別	記号	数量
チッピング	上部工	T1	-
コンクリート	"	Co1	-
型枠	"	K1	-
チッピング	本体工 港内側	T2	2.8
コンクリート	"	Co2	1.43
型枠	"	K2	1.8
チッピング	本体工 港内側	T3	3.4
コンクリート	"	Co3	1.71
型枠	"	K3	2.4



種別	細別	記号	数量
チッピング	上部工	T1	3.6
コンクリート	"	Co1	2.60
型枠	"	K1	2.8
チッピング	本体工 港内側	T2	2.4
コンクリート	"	Co2	1.23
型枠	"	K2	1.1
チッピング	本体工 港内側	T3	3.4
コンクリート	"	Co3	1.57
型枠	"	K3	1.9

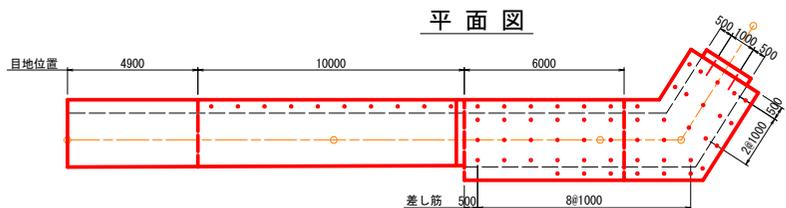


図面番号	5/10	縮尺	1:50
工事名	漁港改修工事 (福山漁港(水呑地区)・7-1)		
図面名称	横断面図		
福山市 港湾河川課			

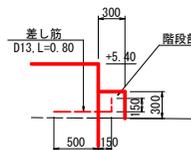
各種詳細図(1/3) S=1:100

釣ヶ端北防波堤

平面図



階段部詳細図 S=1:30
N NO. 1+6.08

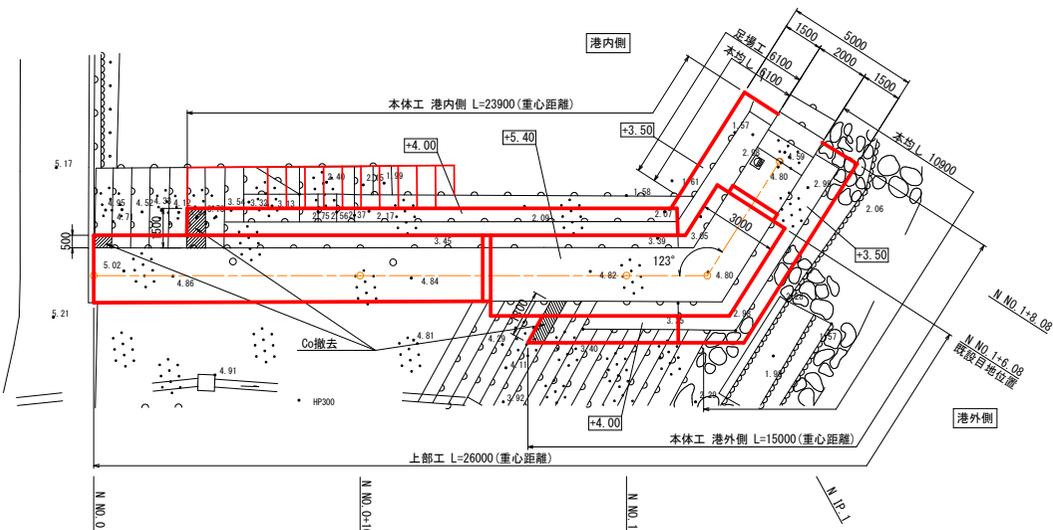


階段部(N NO. 1+6.08) 数量表 (一式当り)

種別	細別	計算式	数量
チッピング		0.30×2.00	0.60 m ²
コンクリート		0.30×0.30×2.00	0.18 m ³
型枠		0.30×0.30×2+0.30×2.00	0.78 m ²
差し筋	S1045, D13 L=800	2×0.80×0.995 kg/m	1.6 kg

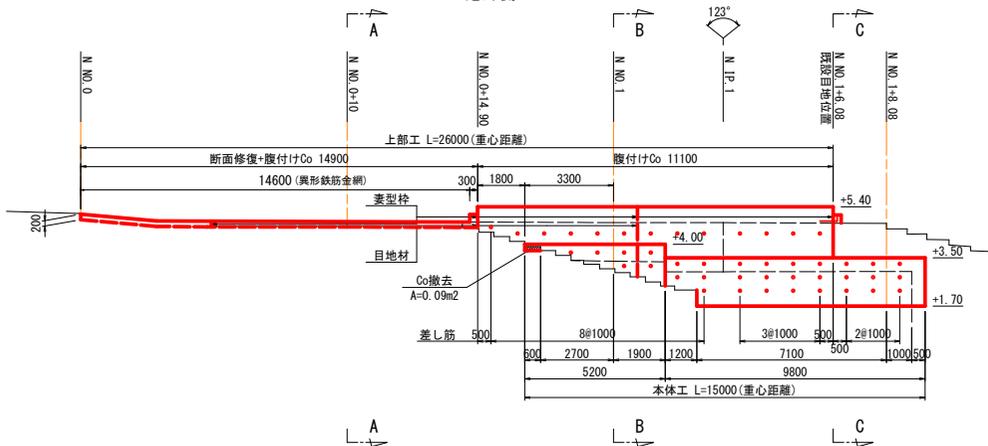
撤去工 数量表 (一式当り)

種別	計算式	数量
Co撤去	0.43×14.90+0.04×0.50+0.14×1.50+0.09×1.80	6.80 m ³



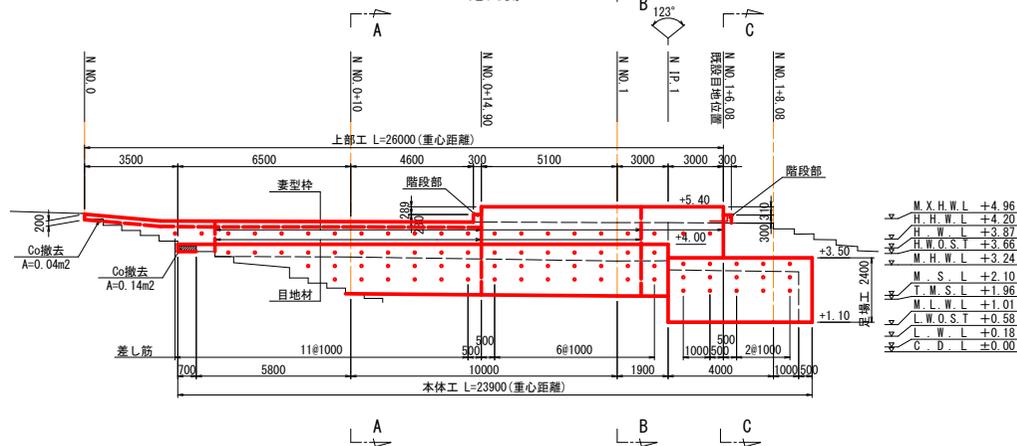
縦断面図

港外側



縦断面図

港内側



※本体工の腹付けCoの設置面については、既設防波堤の根入れを確認できていないため、想定である。
 ※上部工及び本体工の腹付けCo厚は、0.50m以上を確保すること。
 ※足場工は任意仮設とする

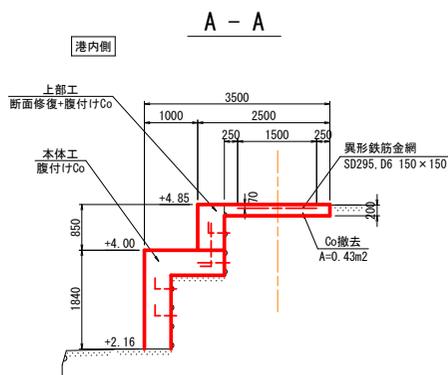


(釣ヶ端北防波堤) A1-A3に50%縮小印刷

図面番号	6/10	縮尺	1:100
工事名	漁港改修工事 (福山漁港(水呑地区)・7-1)		
図面名称	各種詳細図(1/3)		
福山市 港湾河川課			

各種詳細図(2/3) S=1:50

釣ヶ端北防波堤

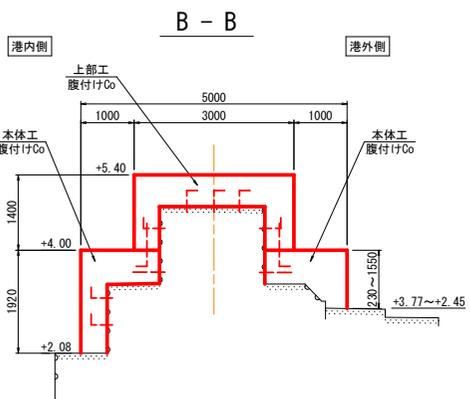


A-A 差し筋(上部工) 数量表 (一式当り)

種別	細別	計算式	数量
削孔	φ16, L=100		12ヶ所
樹脂カプセル	D13用		12 個
差し筋	S3345, D13 L=600	12*0.60*0.995 kg/m	7.2 kg

A-A 差し筋(本体工-港内側) 数量表 (一式当り)

種別	細別	計算式	数量
削孔	φ16, L=100		23ヶ所
樹脂カプセル	D13用		23 個
差し筋	S3345, D13 L=600	23*0.60*0.995 kg/m	13.7 kg
	A L=1000	10*1.00*0.995 kg/m	10.0 kg

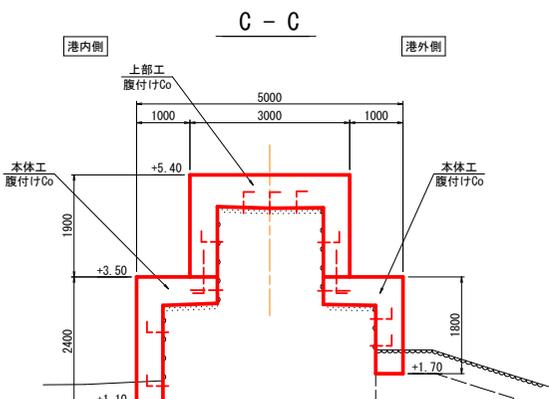


B-B, C-C 差し筋(上部工) 数量表 (一式当り)

種別	細別	計算式	数量
削孔	φ16, L=100	13+9+33	55ヶ所
樹脂カプセル	D13用		55 個
差し筋	S3345, D13 L=600	55*0.60*0.995 kg/m	32.8 kg

B-B, C-C 差し筋(本体工-港外側) 数量表 (一式当り)

種別	細別	計算式	数量
削孔	φ16, L=100	6+26	32ヶ所
樹脂カプセル	D13用		32 個
差し筋	S3345, D13 L=600	32*0.60*0.995 kg/m	19.1 kg
	A L=1000	(4+6)*1.00*0.995 kg/m	10.0 kg



B-B, C-C 差し筋(本体工-港内側) 数量表 (一式当り)

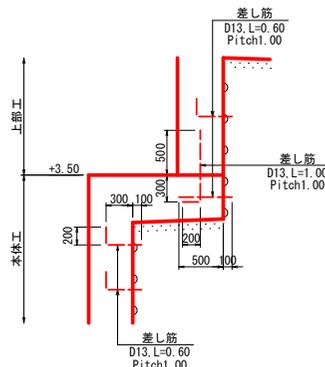
種別	細別	計算式	数量
削孔	φ16, L=100	21+15	36ヶ所
樹脂カプセル	D13用		36 個
差し筋	S3345, D13 L=600	36*0.60*0.995 kg/m	21.5 kg
	A L=1000	(7+2)*1.00*0.995 kg/m	9.0 kg

- w M.X.H.W.L +4.96
- w H.H.W.L +4.20
- w H.W.L +3.87
- w H.W.O.S.T +3.66
- w M.H.W.L +3.24

- w M.S.L +2.10
- w T.M.S.L +1.96

- w M.L.W.L +1.01
- w L.W.O.S.T +0.58
- w L.W.L +0.18
- w C.D.L ±0.00

差し筋案内図 S=1:30



※本体工の腹付けCoの設置面については、既設防波堤の根入れを確認できていないため、想定である。

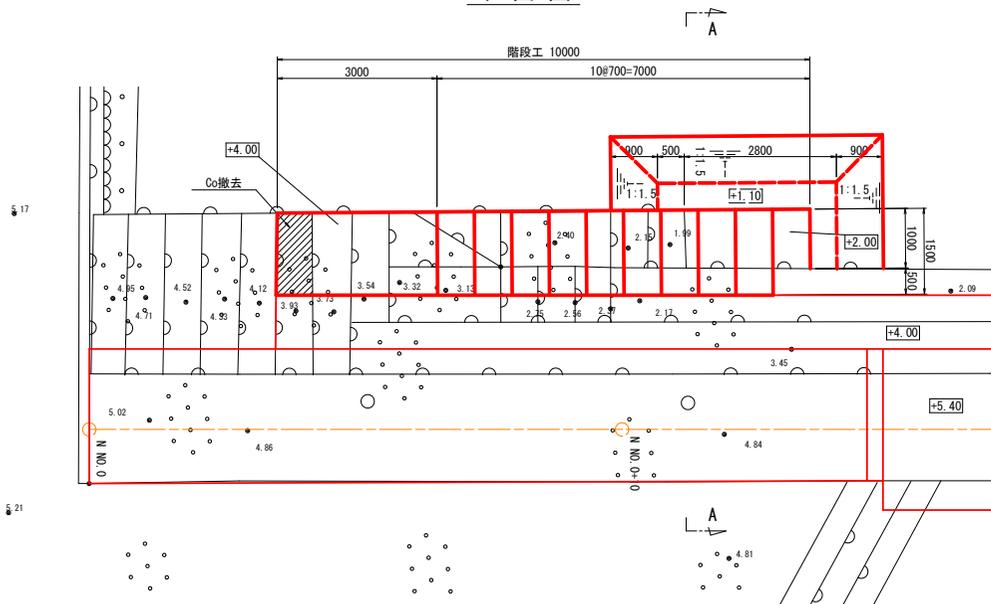


図面番号		縮尺	図示
7/10			
工事名		漁港改修工事 (福山漁港(水呑地区)・7-1)	
図面名称		各種詳細図(2/3)	
福山市 港湾河川課			

各種詳細図(3/3) S=1:50

釣ヶ端北防波堤

平面図



撤去工 数量表 (一式当り)

種別	細別	計算式	数量
Co撤去		0.14*1.50	0.21 m ²

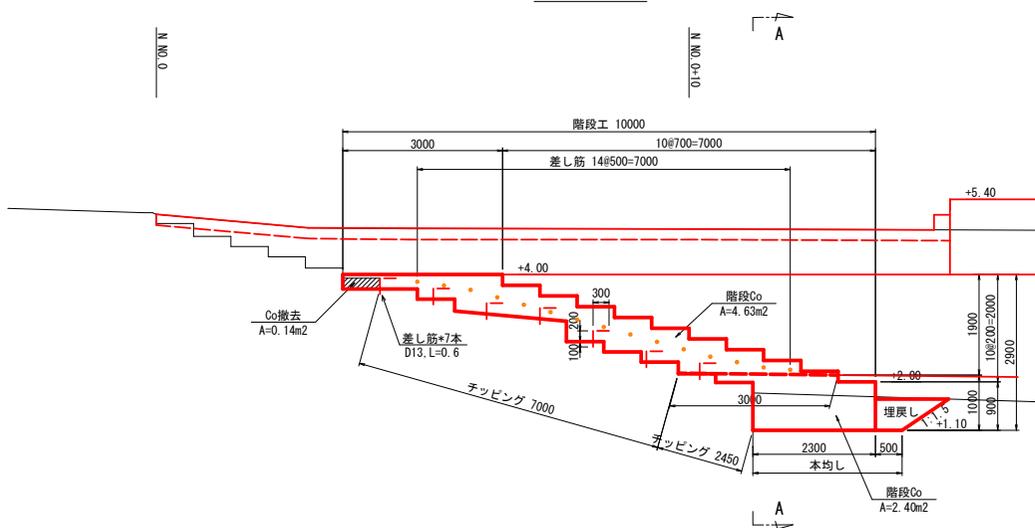
土工 数量表 (一式当り)

種別	細別	計算式	数量
床掘		1/2*0.8*0.90+0.8*0.50	5.64 m ²
本均し	±50mm 陸上砂持	+1.5*2.80+1/2*1.5*0.90	4.20 m ²
埋戻し		1/2*0.7*0.90+2*0.7*3.30	2.94 m ²

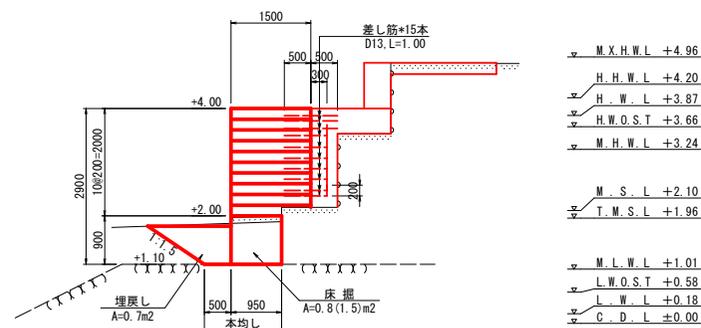
階段工 数量表 (一式当り)

種別	細別	計算式	数量
チッピング		7.00*1.50+2.45*1.00+3.00*0.50	14.45 m ²
コンクリート	ρ _{ck} =18N/mm ²	4.63*1.50+2.40*1.00	9.35 m ²
型枠		1.90*1.50+1.00*1.00+4.63*2.40	10.88 m ²
削孔	φ16, L=100		7ヶ所
樹脂カプセル	D13用		7個
差し筋	S10345, D13 L=600	7*0.60*0.995 kg/m	4.2 kg
	L=1000	15*1.00*0.995 kg/m	14.9 kg

正面図



A-A



- ▽ M.X.H.W.L +4.96
- ▽ H.H.W.L +4.20
- ▽ H.W.L +3.87
- ▽ H.W.O.S.T +3.66
- ▽ M.H.W.L +3.24
- ▽ M.S.L +2.10
- ▽ T.M.S.L +1.96
- ▽ M.L.W.L +1.01
- ▽ L.W.O.S.T +0.58
- ▽ L.W.L +0.18
- ▽ C.D.L ±0.00

※既設階段の形状は、平面図及び写真を基に想定している。
 ※階段工の腹付けCoの設置面については、既設防波堤の根入れを確認できていないため、想定である。
 ※床掘は十分に注意して行うこと。
 ※階段工の腹付けCo厚は、0.50m以上を確保すること。



(釣ヶ端北防波堤) A1→A3に50%縮小印刷

図面番号	8/10	縮尺	1:50
工事名	漁港改修工事 (福山漁港(水呑地区)・7-1)		
図面名称	各種詳細図(3/3)		
福山市 港湾河川課			

付属工詳細図

釣ヶ端北防波堤

平面図 S=1:100



撤去工 数量表 (一式当り)

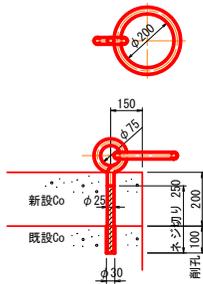
種別	細別	数量
係船柱		2個

付属工 数量表 (一式当り)

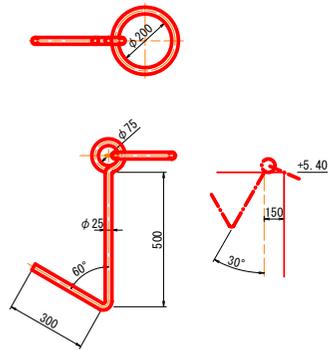
種別	細別	数量
係船環 (SUS製)	φ25 後付け用	2個
	φ25V型	1個

係船環 S=1:10

断面修復部
φ25 後付け用



腹付けCo部
φ25V型



(釣ヶ端北防波堤) A1→A3に50%縮小印刷

図面番号	9/10	縮尺	図示
工事名	漁港改修工事 (福山漁港(水呑地区)・7-1)		
図面名称	付属工詳細図		
福山市 港湾河川課			



※係船環及びタラップは、利用者との協議により取付位置を決定すること。

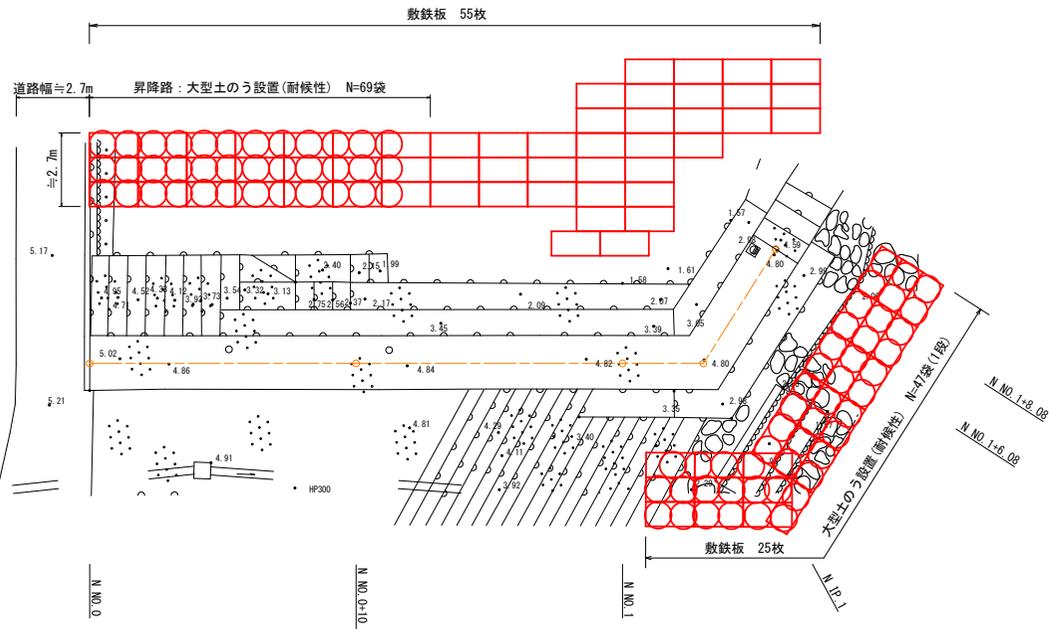
仮設工(参考図) S=1:100

釣ヶ端北防波堤

任意仮設

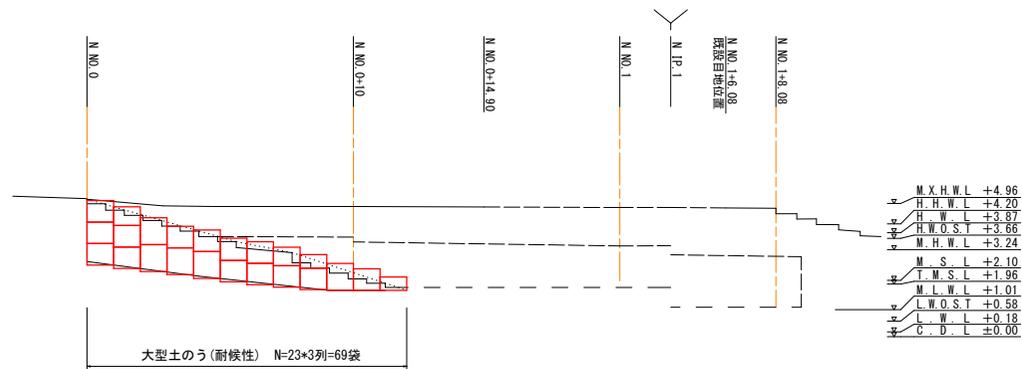
平面図

大型土のう (0.7m³/袋) : 69+47=116袋 (81.2m³)
 敷鉄板 (1.7m²/枚) : 55+25=80枚 (136.0m²)
 (22*914*1829/289kg/枚)



縦断面図

港内側



敷鉄板配置参考図 S=1/200



(釣ヶ端北防波堤) A1-A3(=50%縮小印刷)

図面番号	10/10	縮尺	1:100
工事名	漁港改修工事 (福山漁港(水呑地区)・7-1)		
図面名称	仮設工図面(参考図)		



福山市 港湾河川課

参 考 图 书

施工単価表

殻運搬

SPK24040151

単第0 -0002 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 41.69% 労務構成比:

43.88%

材料構成比: 14.43%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,216.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=61 運搬距離23.2km以下(18.5km超)		

施工単価表

被覆石撤去

SPK24040001

単第0 -0003 表

岩塊・玉石 オープンカット 押土無し

障害無し 5,000m3未満

1

m3 当り

機械構成比: 44.26% 労務構成比:

36.73%

材料構成比:

19.01%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

419.28000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	44.26%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
運転手(特殊)	36.73%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	19.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 岩塊・玉石 C=2 押土無し E=3 5,000m3未満			B=1 オープンカット D=1 障害無し		

施工単価表

床掘り

SPK24040015

単第0 -0006 表

土砂 平均施工幅1m以上2m未満

土留方式無し 障害無し

1

m3 当り

機械構成比: 20.36% 労務構成比:

65.67% 材料構成比: 13.97%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

281.39000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	20.36%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
運転手(特殊)	65.67%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	13.97%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=1 土留方式無し E=1 -(全ての費用)			B=2 平均施工幅1m以上2m未満 D=1 障害無し		

施工単価表

埋戻し

SPK24040020

単第0 -0007 表

最大埋戻幅1m未満

1

m3 当り

機械構成比: 9.57% 労務構成比:

86.79% 材料構成比: 3.64%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,157.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回・超低騒音・排2014 山積0.45/平積0.35m3	8.96%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回・超低騒音・排2014 山積0.45/平積0.35m3		MTPC00159 MTPT00159
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	0.61%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	53.01%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	25.36%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	8.42%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.80%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.84%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=4 最大埋戻幅1m未満			D=1 -(全ての費用)		

施工単価表

捨石本均し
本均し (±5cm)

S5066
陸上施工潮待ち部

単第0 -0008 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
バックホウ運転 (排出ガス対策型2次基準) クローラ型山積0.8m3 (平積0.6m3) 就業8時間	8.0	日			S9820 単第0-0009 表 40.2*0.2
石工	4.0	人			RTPC00017 40.2*0.1
普通作業員	36.2	人			RTPC00002 40.2*0.9
雑材料	0.5	%			#06
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 陸上施工 C=1 割石:200kg/個未満 E=2 潮待ち部 G=14 バックホウ			B=1 本均し (±5cm) D=1 均し100m2未満 F=1 200kg/個以上 I=1 -		

施工単価表

潜水士船
 運転1日(就業8時間)

S9738
 D270ps型 3~5t 199kW

単第0 -0011 表

1 日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 ミニローリー 船舶用(取引税抜き)	12.9	10L			T0203 129/10
潜水世話役	0.24	人			R0420 0.2*1.2
潜水士	1.20	人			RTPC00014 1*1.2
潜水連絡員	1.20	人			RTPC00015 1*1.2
潜水送気員	1.20	人			RTPC00016 1*1.2
潜水士船 潜水士船 D270PS型3~5t吊7.3GT	1	日			M1310007
損料(供用)	1.65	日			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 運転1日(就業8時間)			B=1 単独潜水方式		

施工単価表

被覆均し(陸上)
精度: ± 50cm

S5264
割石: 200kg/個未満

単第0 -0013 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
バックホウ運転 (排出ガス対策型2次基準) クローラ型山積0.8m3 (平積0.6m3) 就業8時間	1.5	日			S9820 単第0-0009 表 18.2*0.08
石工	1.8	人			RTPC00017 18.2*0.1
普通作業員	16.4	人			RTPC00002 18.2*0.9
雑材料	0.5	%			#06
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 陸上施工 C=1 割石: 200kg/個未満 E=2 潮待ち部			B=2 D=1 F=14	精度: ± 50cm 施工規模: 1000m2未満 バックホウ	

施工単価表

チップング (厚2cm以下)

SPK24040370

単第0 -0014 表

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m2 当り 8,147.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	72.11%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.56%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.93%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

型枠

SPK24040155

単第0 -0016 表

一般型枠

鉄筋・無筋構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

9,352.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.19%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.57%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

妻型枠
一般型枠

SPK24040155

単第0 -0017 表

鉄筋・無筋構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

9,352.20000

標準単価:

9,352.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.19%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.57%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

頁0 -0020

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK24040118

単第0 -0019 表

削孔深さ30mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 2.30%

労務構成比: 95.32%

材料構成比: 2.38%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

645.14000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	1.10%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音		KTPC00041 KTPT00041
その他 電動ハンマドリル 穴あけ能力 38~40mm	0.77%		電動ハンマドリル 穴あけ能力 38~40mm		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	45.55%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.43%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.94%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK24040118

単第0 -0024 表

削孔深さ200mm以上400mm以下

1

孔 当り

機械構成比: 2.10% 労務構成比: 95.73%

材料構成比: 2.17%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

955.04000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	0.99%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音		KTPC00041 KTPT00041
その他 電動ハンマドリル 穴あけ能力 38~40mm	0.69%		電動ハンマドリル 穴あけ能力 38~40mm		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	44.77%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.51%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.31%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.74%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

仮設工
工用仮設道路

V0005

単第0 -0026 表

足場工

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
大型土のう製作・設置・撤去	116	袋			V0004 単第0-0027 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離11.0km以下(8.5km超)	80	m3			SPK24040002 単第0-0033 表
現場発生品運搬	0.3	t			V0006 単第0-0034 表
敷鉄板賃料 22×914×1829,289kg/枚 賃貸期間30日	80	枚			廃プラ運搬 S1050029 単第0-0037 表
敷鉄板設置	136	m2			S1050041 単第0-0038 表
敷鉄板撤去	136	m2			S1050043 単第0-0040 表
足場工	1	式			V0007 単第0-0041 表
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

大型土のう製作・設置(BH設置)

SHD10003

単第0 -0028 表

頁0 -0031

10 袋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.278	人			RTPC00009 1*0.278
特殊作業員	0.278	人			RTPC00001 1*0.278
普通作業員	0.278	人			RTPC00002 1*0.278
耐候性大型土のう(2.0t用) 丸型,径110cm×長110cm 短期仮設対応(1年),令和5年改定基準適合品	10.000	枚			TH013236
処理土 ほぐし	10.000	m3			F0000000006 ほぐした土量
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.278	日			S9035 単第0-0029 表
諸雑費	4	%			#09
*** 合計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			
A=4 D=6 耐候性(短期)大型土のう(R5改定基準適合品) 【F】土砂(m3)			B=2	土砂の計上あり	

施工単価表

土砂等運搬

SPK24040002

単第0 -0032 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離4.0km以下(3.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 45.59% 労務構成比:

39.52% 材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

850.14000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	45.59%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.52%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=13 距離4.0km以下(3.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

土砂等運搬

SPK24040002

単第0 -0033 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離11.0km以下(8.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 45.59% 労務構成比:

39.52%

材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,756.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	45.59%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.52%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=32 距離11.0km以下(8.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

現場発生品運搬

SPK24040410

単第0 -0035 表

クレーン装置付BT2t級2.9t吊

片道運搬距離4.0km以下(2.0km超)

1

t 当り

機械構成比: 13.58% 労務構成比:

83.54% 材料構成比: 2.88%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,888.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.58%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.54%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.00%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=4 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離4.0km以下(2.0km超)			B=1 DID区間無し		

施工単価表

現場発生品積込み・荷卸し

SPK24040411

単第0 -0036 表

クレーン装置付BT2t級2.9t吊

1

t 当り

機械構成比: 13.52% 労務構成比: 83.62%

材料構成比: 2.86%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

9,082.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.52%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.39%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	40.83%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.86%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 クレーン装置付BT2t級2.9t吊					

施工単価表

敷鉄板設置

S1050041

単第0 -0038 表

頁0 -0041

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.152	人			RTPC00009
とび工	0.152	人			RTPC00004
普通作業員	0.152	人			RTPC00002
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.152	日			S9035 単第0-0039 表
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

100 m2 当り

施工単価表

敷鉄板撤去

S1050043

単第0 -0040 表

頁0 -0043

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.143	人			RTPC00009
とび工	0.143	人			RTPC00004
普通作業員	0.143	人			RTPC00002
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.143	日			S9035 単第0-0039 表
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

100 m2 当り

施工単価表

手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場
単管足場

S0380

単第0 -0042 表

100 掛m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.900	人			RTPC00009
とび工	6.900	人			RTPC00004
普通作業員	1.800	人			RTPC00002
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	0.800	日			KTPC00014
諸雑費	29	%			#09
*** 合計 ***	100	掛m2			
*** 単位当たり ***	1	掛m2			
A=2 単管足場 C=0 潮待割増			B=1	安全ネットを設置しない	

数量計算書 総括表(1)

工種	種別	細別	規格	単位	計算値	設計値	摘要
撤去工							
		コンクリート撤去	無筋	m3	7.0	7	計第 1-1 表
		Coガラ運搬	〃	m3	7.0	7	
		同上処分	〃	t	16.47	16	
		被覆石撤去	障害無	m3	4.4	4	計第 1-1 表
		係船柱撤去		個	2	2	計第 1-1 表
土工							
		床掘	平均1~2m未満	m3	9.5	10	計第 2-1 表
		埋戻し	1m未満	m3	2.9	3	計第 2-1 表
		本均し	±5cm 陸上汐待	m2	21.2	21	計第 2-1 表
		基礎捨石	10~100kg	m3	3.0	3	計第 2-1 表
		被覆石復旧	200~400kg	m3	2.4	2	計第 2-1 表
		被覆石均し	±50cm 陸上汐待	m2	5.9	6	計第 2-1 表
本体工							
		チップング		m2	110.6	111	計第 3-1 表
		コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$ 陸上	m3	52.7	53	計第 3-1 表
		型枠	〃	m2	66.0	66	計第 3-1 表
		妻型枠		m2	11.0	11	計第 3-1 表
		目地材	エラストイト t=10mm	m2	4.7	5	計第 3-1 表
		削孔	φ16 L=100	孔	91	91	計第 3-1 表
		樹脂カプセル	D13用	個	91	91	計第 3-1 表
		鉄筋工(差筋)	SD345, D13	t	0.08	0.08	計第 3-1 表 (54.3+29.0) /1000

数量計算書 総括表(2)

工種	種別	細別	規格	単位	計算値	設計値	摘要
上部工							
		チップング		m2	52.8	53	計第 4-1 表
		コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$ 陸上	m3	42.4	42	計第 4-1 表
		型 枠	"	m2	47.3	47	計第 4-1 表
		妻型枠		m2	8.8	9	計第 4-1 表
		目地材	エラストイト t=10mm	m2	5.0	5	計第 4-1 表
		削 孔	$\phi 16$ L=100	孔	67	67	計第 4-1 表
		樹脂カプセル	D13用	個	67	67	計第 4-1 表
		鉄筋工(差筋)	SD345, D13	t	0.04	0.04	計第 4-1 表 (40.0+1.6) /1000
		異形鉄筋金網	SD295, D6 150×150	m2	20.4	20	計第 4-1 表
階段工							
		チップング		m2	14.45	14	計第 5 表
		コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$ 陸上	m3	9.4	9	計第 5 表
		型 枠	"	m2	10.9	11	計第 5 表
		削 孔	$\phi 16$ L=100	孔	7	7	計第 5 表
		樹脂カプセル	D13用	個	7	7	計第 5 表
		鉄筋工(差筋)	SD345, D13	t	0.02	0.02	計第 5 表 (4.2+14.9) /1000
付属工							
		係船環	$\phi 25$ 後付け用	個	2	2	計第 6 表
		"	$\phi 25V$ 型	個	1	1	計第 6 表
仮設工							
		任意仮設	工事用仮設道 足場工	式	1.0	1	図面10/10 計第 3-1 表
		任意処分費	残土 廃プラ	式	1.0	1	

計第 1-1 表 撤 去 工 計 算 表

細 別	規 格	算 定 式	数 量
		(一式当り数量)	
コンクリート撤去	無 筋	(各種詳細図より) 6.80 + 0.21	7.01 m ³
Coガラ運搬	"		7.01 m ³
同上処分	"	7.01 × 2.35 t/m ³	16.47 t
被覆石撤去	200~400kg	(計第1-2表より) 4.40	4.40 m ³
係船柱撤去		(付属工詳細図より)	2 個

計第 2-1 表 土 工 計 算 表

細 別	規 格	算 定 式	数 量
		(一式当り数量)	
床 掘		(計第2-2表より)(各種詳細図より) 3.90 m ³ + 5.64 m ³	9.54 m ³
本均し	±5cm 陸上汐待	(各種詳細図より) 1.00 m × (10.90 m + 6.10 m) + 4.20 m ²	21.20 m ²
基礎捨石	10~100kg	(計第2-2表より) 2.30 m ³ × 1.30 (割増率)	2.99 m ³
被覆石復旧	200~400kg	(計第2-2表より)	2.40 m ³
被覆石均し	±50cm 陸上汐待	(計第2-2表より) 0.50 m × 11.80 m	5.90 m ²
埋戻し		(各種詳細図より)	2.94 m ³

計第 2-2 表 土 工 計 算 表

測 点	距 離	床 掘 (E)						摘 要
		面 積	平 均	体 積		平 均		
		-						
N NO. 1 +8.08	3.2	0.6	0.60	1.9				
	1.0	0.6 1.1	0.60	0.6				
	1.0	1.1	1.10	1.1				
	0.6	0.0	0.55	0.3				
合 計				m ³ 3.9				
測 点	距 離	基 礎 捨 石 (g)						摘 要
		面 積	平 均	体 積		平 均		
		-						
N NO. 1 +8.08	3.4	0.3	0.30	1.0				
	1.5	0.3 0.9	0.30	0.5				
	0.5	0.9	0.90	0.5				
	0.6	0.0	0.45	0.3				
合 計				m ³ 2.3				
測 点	距 離	被 覆 石 復 旧 (G)						摘 要
		面 積	平 均	体 積		平 均		
		-						
N NO. 1 +8.08	8.3	0.2	0.20	1.7				
	3.5	0.2 -	0.20	0.7				
合 計	11.8			m ³ 2.4				

計第 3-1 表 本 体 工 計 算 表

細 別	規 格	算 定 式		数 量
本体工				
		(一式当り数量)		
チップング		37.40	+ 73.20	110.60 m ²
コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ² 陸 上	19.08	+ 33.66	52.74 m ³
型 枠	〃	22.82	+ 43.17	65.99 m ²
妻型枠		3.92	+ 7.10	11.02 m ²
目地材	エラストイト t=10mm	1.23	+ 3.46	4.69 m ²
削 孔	φ16 L=100	32	+ 59	91 ヶ所
樹脂カプセル	D13用	32	+ 59	91 個
差し筋	SD345, D13 L=600	32	+ 59	91 本
		19.1	+ 35.2	54.3 kg
〃	SD345, D13 L=1000	10	+ 19	29 本
		10.0	+ 19.0	29.0 kg
※任意仮設 足場工	単管			14.64 掛m ²

計第 3-2 表 本 体 工 計 算 表

細 別	規 格	算 定 式	数 量
(港外側) 本土工		L =	(重心距離) 15.00 m
		(一式当り数量)	
チップング		(計第3-4表より)	37.40 m ²
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$ 陸上	(計第3-5表より)	19.08 m ³
型 枠	〃	(計第3-5表より) (N NO. 1+1.90) 21.40 + 1.42	22.82 m ²
妻型枠		(N NO. 1) (N NO. 1+9.58) 1.23 + 2.69	3.92 m ²
目地材	エラストイト t=10mm	(N NO. 1)	1.23 m ²
削 孔	$\phi 16$ L=100	(各種詳細図より)	32 ヶ所
樹脂カプセル	D13用	(〃)	32 個
差し筋	SD345, D13 L=600	(〃)	32 本 19.1 kg
〃	SD345, D13 L=1000	(〃)	10 本 10.0 kg

計第 3-3 表 本 体 工 計 算 表

細 別	規 格	算 定 式	数 量
(港内側) 本土工		L =	(重心距離) 23.90 m
		(一式当り数量)	
チップング		(計第3-4表より)	73.20 m ²
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$ 陸上	(計第3-5表より)	33.66 m ³
型 枠	〃	(計第3-5表より) (N NO. 1+1.90) 41.60 + 1.57	43.17 m ²
妻型枠		(1.39+1.57) / 2 = 1.48m ² /ヶ所 (N NO. 0+10, 1の平均値)	
		(N NO. 0+3.50) (N NO. 1) (N NO. 1+9.58) 0.41 + 1.48 + 1.57 + 3.64	7.10 m ²
目地材	エラストイト t=10mm	(N NO. 0+3.50) (N NO. 1) 0.41 + 1.48 + 1.57	3.46 m ²
削 孔	$\phi 16$ L=100	23 + 36 (各種詳細図より)	59 ヶ所
樹脂カプセル	D13用	23 + 36 (〃)	59 個
差し筋	SD345, D13 L=600	23 + 36 (〃)	59 本 35.2 kg
〃	SD345, D13 L=1000	10 + 9 (〃)	19 本 19.0 kg
※任意仮設 足場工	単管	2.40 × 6.10 (図面6/10)	14.64 掛m ²

計第 3-4 表 本 体 工 計 算 表

測 点	距 離	チップング						摘 要
		長 さ	平 均	面 積		平 均		
(港外側)		-						
		0.2						
N NO. 1	0.60	0.2						
		1.7	0.20	0.1				
N NO. 1	2.70	2.4	2.05	5.5				
		2.9						
N NO. 1	1.90	2.6	2.65	5.0				
		2.7						
N NO. 1	1.20	2.8	2.65	3.2				
		2.8						
+8.08	7.10	2.8	2.80	19.9				
		2.8						
(港外側)	1.00	1.8	2.80	2.8				
		1.8						
小 計	0.50	-	1.80	0.9				
				m ²				
				37.4				
(港内側)		-						
N NO. 0	0.70	0.3						
		0.3						
+10.00	5.80	1.8	0.30	0.2				
		3.3	2.55	14.8				
N NO. 1	10.00	3.4	3.35	33.5				
		3.4						
N NO. 1	1.90	3.4	3.40	6.5				
		3.4						
+8.08	4.00	3.4	3.40	13.6				
		3.4						
(港内側)	1.00	2.4	3.40	3.4				
		2.4						
小 計	0.50	-	2.40	1.2				
				m ²				
				73.2				
合 計				m ²				
				110.6				

計第 4-3 表 上部工 計算表

細 別	規 格	算 定 式	数 量
(腹付けCo) 上部工		L =	(重心距離) 11.10 m
		(一式当り数量)	
チップング		(計第4-4表より)	43.00 m ²
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$ 陸上	(計第4-5表より)	30.08 m ³
型 枠	"	(計第4-5表より)	33.50 m ²
妻型枠		(N NO. 0+14.90) (N NO. 1) (N NO. 1+6.08) 2.19 + 2.60 + 3.13	7.92 m ²
目地材	エラストイト t=10mm	(N NO. 1)	2.60 m ²
削 孔	$\phi 16$ L=100	(各種詳細図より)	55 ヶ所
樹脂カプセル	D13用	(")	55 個
差し筋	SD345, D13 L=600	(")	55 本 32.8 kg
(階段部) 上部工	NO. 1+6.08		
		(一式当り数量)	
チップング		(各種詳細図より)	0.60 m ²
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$ 陸上	(")	0.18 m ³
型 枠	"	(")	0.78 m ²
差し筋	SD345, D13 L=800	(")	2 本 1.6 kg

計 第 5 表 階 段 工 計 算 表

細 別	規 格	算 定 式	数 量
		(一式当り数量)	
チップング		(各種詳細図より)	14.45 m ²
コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ² 陸 上	(")	9.35 m ³
型 枠	"	(")	10.88 m ²
削 孔	φ16 L=100	(")	7 ヶ所
樹脂カプセル	D13用	(")	7 個
差し筋	SD345, D13 L=600	(")	7 本 4.2 kg
"	SD345, D13 L=1000	(")	15 本 14.9 kg

